

# 平成 29 年度事業計画書

公益社団法人横浜歴史資産調査会

## 1. 経緯、現状及び当会の取組

### (設立の経緯等)

当調査会は、「歴史的な資産を大切にし、活用することによってまちの魅力を創っていく」という趣旨に賛同する歴史的建造物に係る専門家の団体として、1988年（昭和63年）に「横浜市歴史的資産調査会」として発足しました。これまで、横浜市都市整備局都市デザイン室等と連携して歴史的建造物の調査や保全活動に関する研究を進め、横浜独自の「歴史を生かしたまちづくり」を推進してきました。平成21年6月に一般社団法人横浜歴史資産調査会（愛称：ヨコハマヘリテイジ）として新たな組織となりスタートをきりました。さらに、平成25年4月に内閣府認定の公益社団法人横浜歴史資産調査会（いわゆる免税団体）として活動を強化し、横浜市と両輪となって「歴史を生かしたまちづくり」を推進しております。なお、平成29年11月で「歴史を生かしたまちづくり」は29年を迎えます。

### (現状及び当調査会の取組)

まちづくりは、街路や公園といったインフラ整備だけではなくその土地固有の歴史的資産の保全・活用を推進することによって豊かな暮らしを創造することができます。そのためには、市民、自治体、専門家、企業等が一体となってまちづくりを推進していくための取組が必要です。一方で、まちづくり専門家の不足、民間企業の社会性の不足、地域住民の当事者意識の不足などが要因となってインフラ整備偏重の箱ものづくりが多く地域においてみられ、地域文化の消滅、歴史的集落や町並み景観や環境の破壊、中心市街地の空洞化、コミュニティの崩壊など様々な問題を生み出しています。このような様々な問題を解消し、豊かな暮らしを創造するまちづくりは、地域の人々の継続的な努力によって推進される必要があり、生活の場としての地域の発展の変遷を認識し共有しながら、まちづくりおこなうことが重要であると言えます。このような観点から、当調査会の柱の事業である「歴史を生かしたまちづくり」は、地域固有の歴史的資産を保全・活用することによって地域に活力をもたらし、地域力やシビックプライドの醸成に向けて有効な方策であります。将来にわたり、地域の関係者が一体となってまちづくりを推進するために必要な事業であるとの認識のもとに引き続き以下の平成29年度事業を実施します。

## 2. 平成29年度実施事業計画

### (1) 基本的考え方

歴史的資産は、人々の生活と共に地域に息づき親しまれ豊かな景観をもたらしており、個性あふれるまちづくりのための貴重な資源となっています。しかし、歴史的資産を将来にわたり保存していくことは容易なことではありません。このため、日頃から歴史的景観形成に必要な歴史的建造物を失わないため、保全を目的とした現状調査、保全・活用に関する計画や提案等を実施いたします。

さらに、「歴史を生かしたまちづくり」を推進するためには、市民の理解や支援を得るとともに積極的に取り組むことができる人材を確保することが重要となっています。このため、「歴史を生かしたまちづくり」に関するセミナー、シンポジウム、見学会等を開催し、「歴史を生かしたまちづくり」のための普及啓発、人材育成への取組を積極的に行います。

### (2) 調査事業

#### ◎受託調査

#### 1、 歴史的建造物保全・活用計画関連調査

歴史的建造物を保全、活用するため、横浜市都市整備局からの受託事業として歴史的建造物保全活用計画関連調査を実施します。この調査は、所有者へのヒアリング、歴史的建造物に関する文献調査、写真撮影、現地確認、地図へプロットする方法により実施し、調査結果を当調査会の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり」の内容検討に活用するとともに、具体的な歴史的建造物の保全・活用における方針の策定や課題等を整理します。

#### ◎自主調査

#### ① 横浜市内等の古民家調査

市内等の茅葺民家（鉄板覆含む）、近代和風住宅他の現況調査を行います。

#### ② 建築家J.H.モーガンの建築現況と保全調査

市内等のJ.H.モーガン建築の現況と自邸の調査と保全を提案します。

#### 2、歴史を生かしたまちづくり相談室の運営

横浜市内や神奈川県内等には多くの歴史的建造物等の歴史的資産が数多く存在しています。時代と共に取り壊される運命にある対象も年々増えています。しかし、これらの歴史的建造物は、一度壊してしまうと元には戻せません。また、歴史的建造物の老朽化、居住性の低下、修理費、固定資産税や相続税等などが障害となり、保全・活用を行いたくても出来ないで悩んでいる方が多くいらっしゃいます。

そこで、歴史を生かしたまちづくり相談室を設け、様々な相談に対応し、瞬時に調査、保全の提案、修理、住まい手紹介、取得等の有効な手当を行うことが必要とされているのです。将来にわたる「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史・文化資源を確保することを目的に運営に力を注ぎます。

### (3) 保護事業（自主事業）

歴史的資産を保全し、維持し続けることは、当該歴史的資産の所有者等にとって大きな負担となるとともに、維持に関する専門的知見が求められます。このため、当調査会で行っているに市民相談室の結果を踏まえ、保全が必要とされる歴史的建造物等には、支援体制を整えます。さらに、保護事業対象として位置付けて選定し、当該歴史的資産の保全、活用、取得、管理、維持への取組に積極的に参画します。

#### ① 「都橋商店街」の保全・管理

公益財団法人横浜市建築保全公社から建物を受贈。

#### ② 「京急電鉄旧瀬戸変電所」の保全・管理

湘南電鉄創業時（昭和5年）の歴史的建造物で京急電鉄㈱から受贈後、改修。

### (4) 普及啓発事業

#### ◎受託事業

歴史的資産に関する専門家の育成やまちづくりに関する市民の理解を深めるために横浜市都市整備局からの受託事業として実施します。

#### ① 「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催

#### ② 『歴史を生かしたまちづくり横濱新聞』第33号の発行

#### ◎自主事業

#### ① ヘリテイジセミナー、シンポジウム、見学会の開催

#### ② ヨコハマヘリテイジブックレット-3『生きている古民家』の発行

#### ③ 「シルクロードネットワーク・福島フォーラム」の開催

横浜に繁栄をもたらせた絹産業で関連の深い関東甲信越、東北各地の市町村と連携し絹文化の啓発、保全、活用をテーマとして福島市でフォーラムを開催します。横浜市、新庄市に続き、3回目の開催となります。

#### ④ 「旧倉石忠雄家住宅」（長野県千曲市稲荷山・国重要伝統的建造物群保存地区）の活用 絹文化の拠点であった稲荷山地区は、横浜との交易で繁栄しました。この歴史を礎として横浜との絹文化交流拠点として活用いたします。千曲市、地元市民団体と協働します。

#### ⑤ コンサート in ヘリテイジ『ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol.6』の開催

横浜山手芸術祭の一環としてピアノコンサートをベーリック・ホールで開催します。

### (5) 会員事業（自主事業）

当調査会の事業への継続的な支援を確保するために、ヨコハマヘリテイジサポートクラブ会員の募集と合わせて幅広く会員ボランティアによるサークル活動等を推進します。

#### ① 『ヨコハマヘリテイジスタイル』の発行

#### ② ホームページの充実